一条通病院	旭川市東光１条１丁目	34-2111
旭 川 医 院	旭川市神楽３条４丁目	61-1117
旭川北医院	旭川市大町２条14丁目	53-2111
宗 谷 医 院	稚内市末広３丁目	(稚)24-1117
ながやま医院	旭川市永山５条11丁目	46-2211
一条クリニック	旭川市東光１条１丁目	34-1136
かたくりの郷(老健)	旭川市神楽３条４丁目	63-1165
東光ぬくもりポート	旭川市東光１条１丁目	34-2917
一条ケアセンター	旭川市東光１条１丁目	31-1152
宗谷さわやかポート	稚内市末広３丁目	(稚)24-2223

道北の医療

2016年８月１日
第484号

発　行　所
道北勤労者医療協会
〒078-8341 旭川市東光１条１丁目
ＴＥＬ　0166-33-1117
ＦＡＸ　0166-32-6925
Ｅﾒｰﾙ tomonokai@dohoku-kinikyo.or.jp
発行者　八重樫典生

平和への思いをペダルにこめて

第15回 道北反核・平和自転車リレー

風を切って疾走する車列

今年で15回目となる道北反核・平和自転車リレーは、７月16日から２日間、道北勤医協労働組合青年部が中心となって取り組まれました。

今年の自転車リレーは滝川市のエルム高原を出発し、旭川市まで約１００キロの道程でした。

１日目の16日、参加者は歌志内市のかもい岳ビレッジに宿泊。道北勤医協労働組合の中村亮委員長から「日本国憲法について」の学習講演を受け、安倍政権の進める戦争する国づくりを許さない視点から平和を考えました。

そして翌17日の朝10時、晴天の下エルム高原入口案内看板前からスタート。伴走の宣伝カーは反核平和を訴えながら午前は38キロを走りました。昼食休憩を挟み、よいよ再開というとこで天候が一変。小雨がりだし、天候は悪化の一途。それでも12キロ走りましたが、秩父別付近で雨が本降りとなりました。天候回復を待ちましたが雨は一向に上がらず、安全面を考慮して無念の中止となりました。

今年４月に入職して今回初参加した一条通病院リハビリ科の黒田あつむさんは「学習や自転車でのアピールを通して、今まであまり考えたことのなかった平和の大切さを学び、この思いをもって患者さんのケアに励みたいと思いました。仲間と一緒に自転車に乗って結束力も実感しました。来年もぜひ参加したいです」と思いを述べました。

参加したリハビリ科の青年職員

原爆投下から71年

核兵器を禁じ廃絶を求める

原水爆禁止2016年世界大会に代表派遣

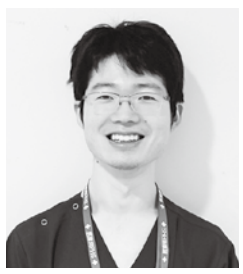
原水爆禁止２０１６年世界大会が８月２日～９日の日程で開催されます。

今年は広島での世界大会に職員、友の会からの代表として、一条通病院の熊田肇医師、野田侑花作業療法士、北星友の会赤川雅則事務局長、宗谷医院の三瓶峰智事務長が参加します。

今回の大会テーマは「核兵器のない平和で公正な世界を被爆者とともに核兵器のない世界の扉を開こう」。

このテーマには、被爆者の速やかな核兵器廃絶への願いと、核兵器を禁止し廃絶する条約締結をすべての政府に求める国際署名の呼びかけに応え力を合わせようという思いがこめられています。

野田侑花さん


熊田肇さん

三瓶峰智さん

赤川雅則さん

一条通病院・一条クリニック

無料低額診療制度

就学援助世帯の方も対象です

無料低額診療制度が適用されると、一条通病院、一条クリニックでの内科、整形外科、小児科の窓口一部負担が無料になります。
薬代も旭川市の公的助成制度利用などで無料になります。
就学援助世帯全員が対象となりますので、お子さんはもちろん、お父さんやお母さんの健康を守るために、ぜひ制度をご利用ください。

●利用のご相談は、一条通病院、一条クリニックの受付窓口でお申し出頂くか、お電話でも承ります。まずはご相談ください。

一条通病院
☎ 34-2111

けんびきょう

８月、忘れてはいけないあの日を迎える。広島、長崎への原爆投下から71回目の夏。永遠に語り継がなければならない原爆と戦争の過ち▼長女と幼い頃に一緒に視たビデオ「つるにのって、とも子の冒険」。広島平和記念公園に立つ「原爆の子の像」のモデルである佐々木貞子さんをとりあげたアニメだ。貞子さんは２歳で爆心地から１・７キロ地点で被爆し、６年生で白血病と診断され、12歳の短い生涯を遂げた▼貞子さんと我が子の姿が重なり、やり切れない思いがあふれた。何時かは原爆資料館に娘と訪れ、核兵器の悲惨さを自分の目で確かめたいと思いながら20年の歳月が流れた▼娘と行くことは叶わなかったが、昨年広島を旅行先に選択し、平和祈念館に向かった。過去に沖縄「ひめゆり平和祈念資料館」を訪れ、戦争の悲惨さを目の当たりにしたが、原爆被害も子供達の犠牲の多さに胸が絞めつけられた▼我が家の孫も被爆時の貞子さんと同じ二歳になった。この笑顔を失わないために、そして再び戦争する国にさせないためにも、私たち大人が子や孫のために平和を守る行動に移さなければならない。(米)

友の会の皆様
地域の皆様

旧一条通病院の取壊しのご報告

日頃から道北勤医協の医療・介護活動にご協力を頂き、心から感謝申し上げます。

さて、旧一条通病院の建物にいて第56回通常社員総会で「建物を残すのか、取り壊すのか」を今期の理事会の課題と確認頂きました。その後、７月７日に開催した第２回理事会で総合的に判断し取り壊す事といたしましたのでご報告致します。

建物の取壊しの判断に至った理由は次の通りです。

①医療活動から

新一条通病院が旧病院の陰に隠れて新病院で引き続き診療している事がわからないという声が多く聞かれた事。また、景観上の改善が必要と判断致しました。

②安全面から

建物を放置したままにして危惧されることは、旧病院内での事故や災害です。今回の理事会決定では安全面も重視しました。

③費用面から

建物の取壊し費用を社員総会後に複数社からお見積もりを頂いた結果、当初の予定額を下回る結果となりました。

④経営活動から

建物にかかる固定資産税と駐車場の賃貸料を計算すると、約８年で取壊しの費用が捻出できる事になります。

⑤職員の利便性から

現在職員駐車場は病院と離れた場所に借りており、職員からも改善の要望があげられていました。その駐車場の契約期限もあり７月中の着工が必要でした。

旧一条通病院の建物は「医療変革」目指した、多くの友の会、地域住民、先人たちの思いが込められた歴史ある建物です。役職員一同、その歴史と志を新しい一条通病院にしっかりと引継ぎ民医連運動を進める決意です。

どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

2016年８月１日
道北勤労者医療協会　常任理事会

旧一条通病院について

旧一条通病院は道北勤医協のセンター病院として1979年4月27日に着工。鉄筋コンクリート、地上3階地下1階で建築され、同年12月20日に患者さん、友の会、地域の人々の期待を受け開院しました。その5年後の1984年8月10日、地上6階地下1階の新棟建設が着工。翌年9月24日に現在の建物の形での診療が開始されました。

糖尿病治療を交流し日常診療に生かすために
全日本民医連糖尿病シンポジウム

第34回全日本民医連糖尿病シンポジウムin北海道が7月15・16日の二日間に渡り、札幌市定山渓で行われました。全国30都道府県から277人が集まり、道北勤医協からは仲谷了医師、佐久間文子医師をはじめ様々な職種の職員14人が参加しました。

二日目、ワークショップの様子

一条クリニックの研究発表が座長賞に

一日目は、北海道勤医協中央病院の伊古田明美医師の実行委員長挨拶、全日本民医連医療部から「暮らし・仕事と40歳以下2型糖尿病についての研究」と題した報告がありました。続いて中央病院職員が糖尿病患者さんを演じた寸劇「ジコセキニンって言われたって」が3幕構成で行われ、1幕ごとの討論会では、糖尿病患者の社会的背景などを考える活発な意見交換が行われました。

その後、116の口演・ポスター発表があり一条クリニックの横山ルミ看護師が「高齢糖尿病患者における相談環境調査」を発表し、座長賞を受賞しました。

二日目は道北勤医協が企画・運営を行った「高齢者の糖尿病」のワークショップには62人が参加し、全国での治療の経験を学び、討論しました。

道北勤医協糖尿病グループは今回の交流を「高齢者の糖尿病」の日常診療に生かしていきます。

ながやま医院で地域健康ふれあいまつり開催 7/16

永山西小学校の吹奏楽で開会

ながやま医院は町内会との共催で毎年、夏まつりを行っており、今年は7月16日㈯に開催され、500人が参加しました。

ステージでは永山西小学校吹奏楽部「サウンドパーク」のミニコンサートや町内会有志のフラダンス、カラオケ愛好会の歌の祭典等が行われ、子供運動会や盆踊りは多くの方が参加し、盛り上がりました。

ながやま医院の広岡良典事務長は「着任して初めてのまつりでしたが、院所、友の会と町内会が一緒になってこれほどの会を開催できることに感激しました。このつながり様々な連携につなげられればと思っています」と今後の抱負を話しています。

市立病院の医師に感謝の言葉を送ろう
稚内市での医療介護を通じた地域連携した街づくり

深刻な医師不足に悩む稚内市で「地域全体で協力して医療充実を図り、誰もが安心して住み続けられる地域をつくろう」という目的で「地域医療を考える稚内市民の会議」が昨年発足しました。

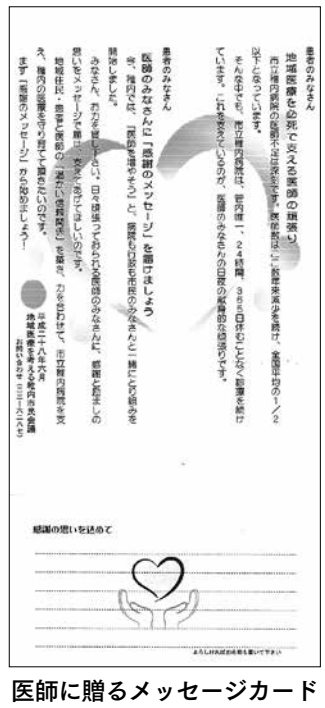
稚内市長が会長となり、稚内市、市立病院、医師会、町内会、校長会、商工会議所、銀行など19団体で構成され、道北勤医協宗谷医院と友の会も中心メンバーとして関わっています。

市立稚内病院外来待合での訴え

同会では今年6月末、医療機関と住民の相互理解と信頼関係を深める目的で、市立稚内病院の医師に感謝の意を伝えるメッセージカードの取り組みを開始しました。

市立稚内病院は宗谷管内唯一、365日24時間救急体制をもつ地域センター病院であり、これを支える医師に日頃伝えられない感謝の気持ちを届けようというものです。

また、宗谷医院は稚内市から医療介護の連携事業「てっぺんの会」の運営を委託され、医療機関、介護事業所をはじめ、関係機関、職種の方々と連携し、在宅療養支援窓口開設を目指すなど、稚内市で唯一、在宅医療を行っている医療機関として、地域住民の立場からの街づくりを進めています。



医師に贈るメッセージカード

友の会と民医連をつなぐ月刊誌

「いつでも元気」読んでみませんか

創刊25周年を迎えた「いつでも元気」。医療・福祉の話題はもちろん、お料理や旅、海外の情報から有名人まで、内容は盛りだくさん！　まずは手にとって、ページをめくってみましょう～♪
見本誌は各院所待合に置いてあります。

購読ご希望は、お知り合いの友の会役員さんや各院所窓口などにお声がけください。１冊380円です。

あなたと民医連をつなぐ月刊誌
MIN-IREN
いつでも元気
好評発売中
2016 8 月号380円
巻頭エッセイ／唯一の自由は「決めること」　細美武士
特集 71年目の命題
沖縄県民大会、従軍慰安婦
映画「いしぶみ」
けんこう教室 ぜん息　吉澤　敬一
食と健康 読者のハガキから 高血圧の方の食事
発行＝衛保健医療研究所　〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター8階　電話 03(5842)5656(代表)　FAX 03(5842)5657

シリーズ
みんなの医療講座

食物アレルギーの経皮感作について

一条通病院小児科
日本小児科学会専門医
日本アレルギー学会専門医
久保田知樹

アレルギーの原因となる物質（タンパク）を抗原（アレルゲン）といいますが、このアレルゲンが食物である場合は食べて腸管から吸収される過程で感作（生体側が免疫反応を起こしてアレルギーが発症すること）が成立するというのが一般的に考えられていました。

しかし最近は、食物抗原が皮膚に付着することで皮膚から食物タンパクが吸収されて感作が成立し、その後に食べることでもアレルギー反応が出るようになるという現象が注目されています。アレルギー体質がある人や、皮膚が湿疹のためにバリア機能が弱くなっている場合にこのアレルギーのリスクが高まります。具体的に私が経験した例では…

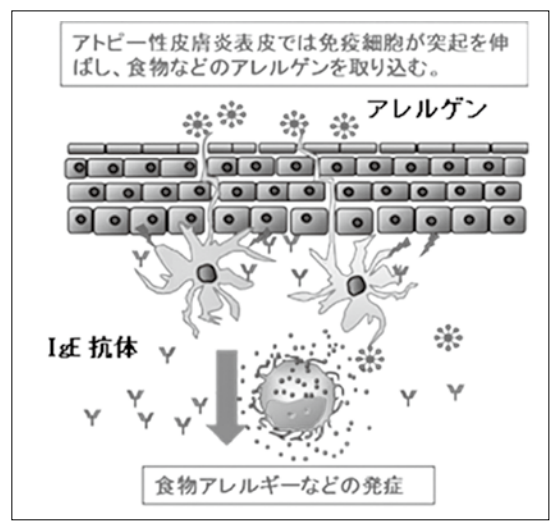
□1歳児が初めて食べたイクラでアナフィラキシー（※）を起こした。…（実は家族が魚卵好きで、お兄ちゃんがイクラを食べた後のべたべたの手のまま弟くんを触っており、そのたびに少しずつ皮膚が赤くなるエピソードがあった）

□こどもが初めて食べたピーナッツ製品でアナフィラキシーを起こした。…（実はお父さんが赤ちゃんを前にして、毎朝ピーナッツバターをトーストにつけて食べる習慣があった）

□20歳の女性がそれまで摂取していた小麦で運動時にアナフィラキシーを起こすようになった。…（実は彼女はピザ屋さんでピザのパン生地を素手でこねるバイトを一定期間していた）などなど。イメージできたでしょうか。

欧米の論文では小児のピーナッツアレルギーは本人のピーナッツの摂取量よりも、家族内のピーナッツの総摂取量との相関が強く認められたということが報告されています。ですから、アレルギーの発症機転でこの皮膚への付着が最初にあって、その後の経口摂取によるアレルギー発症につながっていくものがかなり多そうだということです。

それを裏付ける新生児を対象とした国内の研究では、生後32週まで皮膚トラブルがなくても毎日1回保湿剤をしっかり塗ってスキンケアする群と、乾燥が気になる部分のみに母の判断に任せて塗る群に分け、その後のアレルギー発症について比較し、皮膚トラブルがないようにみえても毎日保湿剤を1回塗った群の方がそうでない群に比べ、その後のアトピー性皮膚炎の発症が3割減ったこと、アトピーが発症した群では発症しなかった群に比べて有意に卵白のアレルギーの数値が高かったことが報告されています。つまり湿疹などでバリア機能が低下して荒れた皮膚からはアレルゲンが侵入しやすいのです。



最近では成人発症の食物アレルギーで、女性の使用する化粧品・洗顔石鹸などに含有された食物成分を原因とした例、鮮魚を扱う職業の魚アレルギーの例なども多数報告されています。

大切なのは荒れた皮膚を放っておかないこと。特に子供には冬は乾燥対策、夏は汗・汚れ対策というように、季節の皮膚の状態に応じて先回りした細かなスキンケア対策をすることをおすすめします。

（※）アナフィラキシー
発症後、極めて短い時間のうちに全身性にアレルギー症状が出る反応

相談室の窓

最後まで自分の意志を貫き、最北の民医連が支えた

道北勤医協　社会福祉士
石山　武浩

Aさんは50代男性、直腸がん末期状態で1年前に余命3ヶ月と宣告されました。その後治療に専念し、半年を過ぎても生き続けましたが徐々に状態が悪化し、昨年12月のある日、余命1ヶ月未満と宣告されました。

残された日々をどう過ごすか検討する中、在宅での生活を希望され、宗谷医院の訪問診療と訪問看護を受けながら在宅療養することとなりました。

検査結果からは年を越せる状態ではありませんでしたが、Aさんの生きる意欲は高く、医師、看護師、社会福祉士がAさんとご家族を支援し、Aさんも痛みに耐えながらも何とか年を越すことができました。

Aさんは温泉に行きたいという強い願いがありました。ご家族の思いも確認した上で、院所内でカンファレンスを行い、担当医と社会福祉士が付き添うことで温泉行きを実現できました。温泉では大変ご満足の様子で、そこから生きる意欲が向上し、子供の結婚相手に会うまでと1ヶ月経過、下の子の卒業式までとさらに2週間経過とご家族と過ごす時間が延び、最後まで父親としての役割を果たすことができました。にぎやかな雰囲気が好きだったAさんは、亡くなる日まで家族や知人・仲間で楽しく過ごし、家族が見守る側で息を引き取りました。

ご家族からは、「自分の家が病室で、何かあったらすぐに主治医や看護師さんが飛んできてくれて凄く安心できた。社会福祉士が家族に先のことを細かくアドバイスしてくれたことも心強かった。本人の強い意志と家族の思いを尊重してくれたおかげで、在宅での生活を貫かせてあげることができたし、父も思い残すことなく満足してあの世に行くことができたと思います」と感謝の思いを伝えて頂きました。

最北の地・稚内宗谷医院で、民医連ならではの医療・介護が実践できた事例でした。

一条通病院 小児科の午後受付時間延長のお知らせ

学校が終わってからの受診が可能です。

午後受付時間　14:00～16:30 →**14:00～17:00**に変更いたします。

※午前中の受付時間は従来通り8:45～12:30、土曜日8:45～11:30です。

きらり☆ナース

民医連の看護を先輩、患者さんから学ぶ毎日です

3病棟　石田真帆　吉川真奈美

今年4月の入職から4か月が経ちました。入職当初はわからないことが多く不安でしたが、先輩方が優しく教えてくださり、少しずつですが自信を持って出来ることが増えてきました。

4月から新人看護師として仲間入りさせて頂きました。急性期病棟への配属が決まり不安はありましたが、今では病棟の雰囲気にもなじみ毎日楽しく働いています。

毎日、患者さんや家族と関わる中で先輩方に支えて頂きながら新しい知識や技術を学んでいます。

社会人、看護師としての自覚と責任をもち、より患者さんと家族の気持ちに寄り添える看護が提供できるように頑張っていきたいです。

（吉川真奈美）

患者さんから「頑張ってね」「ありがとう」と言葉をかけて頂くこともあり、患者さんのために自分ができることを増やしていこうと強く思います。

これからも先輩方や患者さんから学ばせて頂き、成長していきたいです。

（石田　真帆）

石田真帆さん　吉川真奈美さん

友の会だより

各地からのトピックス

バラ鑑賞と温泉楽しむ

千代田友の会

6月22日、千代田友の会「交流会」を開催し27名が参加しました。

沼田町ほろしん温泉に向け旭川を出発。途中で秩父別町のローズガーデンに寄りました。あいにくの二分咲きでしたが青空のもと一人一人足を止めてバラ鑑賞しました。

温泉到着後、高島信行会長のお話しのあと、美味しい食事を囲んで懇談したり、温泉に入るなどして楽しい時間を過ごしました。

（在宅医療部　吉田忠司）

食事しながら和やかに懇談

定期総会で学習と交流

龍耳友の会、豊岡東友の会

6月26日、龍耳友の会は10回目となる総会を旭川市高砂温泉で開催し、12人が参加しました。

総会には、のとや繁旭川市議を招き、「旭川障がい者向け老人福祉施設と障がい者差別解消法について」の学習講演を行いました。

また、7月13日には豊岡東友の会総会が深川市まぁぶ温泉にて開催し、44人が参加しました。総会後、一条通病院リハビリ技師から肩こり・認知症予防等の体操レクチャーを受けました。

のとや市議の学習講演(龍耳)

体操レクチャーで交流(豊岡東)

毎年好評の企画開催

東光友の会、美瑛友の会

7月13日、東光友の会は恒例のバスツアーを開催し、62人が参加しました。今年は忠別ダム経由で東神楽町花神楽に出発。温泉、食事、ビンゴで交流しました。

また、7月16日には美瑛友の会が恒例の丘めぐりツアーを開催し、52人が参加しました。今年は美瑛町郷土学館に新設された、昼間に天体観測ができる望遠鏡も見学。その後、白銀温泉パークヒルズにて交流しました。

晴天の忠別ダムでの参加者（東光）

郷土学館前での参加者（美瑛）

友の会員さんの転居先不明の際はお知らせ下さい

毎月「道北の医療」配布のご協力ありがとうございます。

友の会員さんの転居に伴い、「道北の医療」の配布先が不明な会員さんがいらっしゃいましたら、お手数ですが電話もしくはメールで、友の会連合会事務局までご連絡下さい。ご協力をお願い致します。

●電話番号：０１６６―３３―０８５４（友の会）

●メールアドレス：tomonokai@dohoku-kinkyo.or.jp

「道北の医療」配布のご協力を

毎月「道北の医療」を購読頂きありがとうございます。この機関紙は道北地域を中心に３４６００人の友の会の皆さんに、主に手配りで配布されています。現在、配布人さんの転居などにより配布が困難となっている地域が多くあります。ご自分の地域の回りで、月に1回の配布をして頂ける方を募っています。各地域の友の会役員または院所施設までお問合せ下さい。ご協力をお願い致します。

読者のひろば

妹の出産が待ち遠しい

旭川市　見角　文さん

9月に妹が出産予定です。誕生が待ち遠しくて仕方ありません！まずは母子共に元気に出産できることを祈っています。頑張ってねー。

生活習慣を振り返って

旭川市　村田　悦子さん

みんなの医療講座「あなたの薬、多すぎませんか？」を興味深く読みました。〝生活習慣の見直しなどでも薬に頼らずに症状が改善する場合もある〟との記事に我が身を振り返り納得です。頑張ってねー。

家庭菜園が心配

旭川市　森田　英樹さん

今年の天候は変ですね。気温もおかしいし、風が強いのもおかしい。家庭菜園がうまくできるか心配です。例年の天候に落ちついてほしいものですね。

「道北の医療」宅配しています

シリーズ㊻

人生を楽しむために健康維持を

永山東友の会　吉田美代子さん

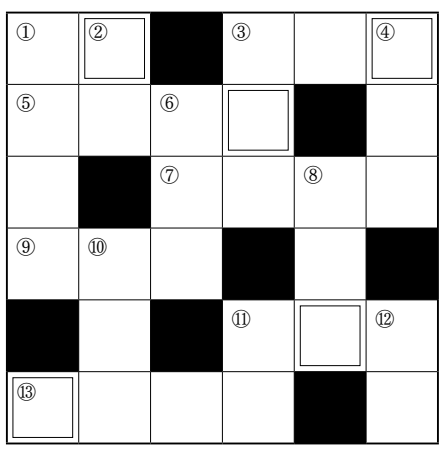
「健康で長生き、寝たきり生活にならないように」との思いから、健康に対する意識が高い吉田さんは、水泳、ウォーキングなどの運動を行い、健康維持に努めています。食生活にも気を使い、手作りのパン、ジャム、ドレッシング、納豆、自家菜園での野菜などが食卓に並びます。特にパンはご近所の方におすそ分けすると大変喜ばれるほどおいしいそうです。

道北勤医協との初めてのつながりも配布世話人の方から、ながやま医院での健康体操に誘われたのがキッカケでした。現在は道北の医療の仕分け、配布と永山東友の会の活動に参加されています。

趣味は旅行。車を運転しての一人旅が好きとのことで、自家用車で妹さんのいる青森から秋田、岩手などを10日間かけて周ったことや、黒部峡谷での景色とダム放水を見たことは心に残る思い出だそうです。

「人生は一度、楽しまないと。そのために健康は一番大切」と吉田さんは笑顔で語りました。

クロスワードパズル328



ヒント　「夏まつりで輪になって」

ヨコのかぎ

①(ンン)/は何（なに）文字？。
③我慢にも○○○がある。
⑤○○○○主義。平和主義の回復を！。
⑦酒に強い人。
⑨視界が悪い時に船に位置を知らせる信号。
⑪○○○豪雨。
⑬蚊の幼虫。

タテのかぎ

①原子記号Kは？。
②第一位を甲として第二位は？。
③これを精製すればガソリンや灯油などに。
④縄文時代の代表的な遺物。
⑥自然の眺め。
⑧道理に合っていて無理のないこと。
⑩手間。てかず。
⑪校正刷りを○○刷りとも言います。
⑫戦争などによって世の中が乱れること。

＝応募方法＝

2重マスの字をくみあわせて、あることば（ヒント参照）をつくってください。

答えは、ハガキか、各院所にある「応募用紙」に、お名前、住所を記入のうえ応募ください。

Eメールでも応募できます（tomonokai@dohoku-kinkyo.or.jp）。

抽選で20人の方に図書カードを送ります。

◆しめ切りは8月末日。

「ご意見」「ご要望」「近況」などもお待ちしています。「読者のひろば」に掲載させていただいた方に、図書カードをお送りします。

＝あて先＝

郵便番号０７８―８３４１　旭川市東光1条1丁目1番12号　道北勤医協　本部　社保組織部。

6月号の答えは「サクランボ」。応募総数は126通（ハガキ57通・メール21通・応募用紙48通）でした。20人の方が当選しました。

＝当選者＝（敬称略）

岩田正、大塚治子、川原久美、酒井信子、竹部かな子、千葉裕、西原富久枝、林紀美子、松本健一、山川弘子、（以上旭川市）今井正昭、戸田志津恵（深川市）泉文夫（東川町）丹敬子（当麻町）飯田笑子、西村正男、橋村清明、渡部トシ子（以上稚内市）菅野功（枝幸町）阿部心音（網走市）

クロスワードパズル6月号解答

ラ	ツ	キ	ヨ	ウ	■
ク	マ	■	サ	カ	テ
イ	■	イ	ン	■	ウ
チ	ク	ワ	■	イ	チ
■	カ	シ	ワ	デ	■
ボ	ン	■	カ	ン	ロ